

# 大田区立しいのき園

## 令和5年度(2023年度)事業報告

### 1, 運営方針

- (1) 利用者が施設の主人公になり、自己実現の場となる施設
- (2) 生き生きと過ごし、働く喜びを実感できる施設
- (3) 地域の中で働く、明るく楽しい施設

### 2, 職員等配置

- ・ 正規職員 13名
  - ・ 正規職員以外 5名 (非常勤職員 5名)
  - ・ 嘱託医 2名
- 合計 20名

### 3, 利用者受入等・平均工賃 \*日数・%等は前年同期比

定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数	稼働率		利用率	
60名	245日(+1日)	11,942名	48.8名	81.3%	+2.7%	88.7%	+5.5%
平均工賃月額		33,105円	前年度	33,053円	+52円		

※平均利用者数＝延べ利用者数÷開所日数 (小数点第2位以下切り上げ)

※稼働率＝延べ利用者数÷(定員×開所日数)

※利用率＝延べ利用者数÷(在籍数55名×開所日数)

\*新規利用者4名(4月1日付け:2名(新卒者)、1名(施設間異動)、1名(暫定から本利用切り替え))

\*退所者3名(5月6日付け:1名(施設入所)、9月6日付け:1名(死去)、3月31日付け:1名(施設間異動))

### 4, 重点目標に対する取り組み状況

第5次経営改革プラン項目			回数・日付	人数	
Ⅲ 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進					
Ⅳ 福祉人材の確保・育成・定着					
1	利用者の想いに寄り添ったチーム支援と専門性の向上(権利擁護・虐待防止への取り組み)	内容	(1) 意思決定支援推進への実践 ⇒グループホーム利用及び成年後見制度利用手続きをサポートした事例 (2) 事例検討による利用者理解の促進及びチーム支援力の向上 ⇒他害・物損行為が多くみられる利用者についてケース会議にて事例検討を実施。うち1回は深谷塾(講師:深谷	通年          9回	1名          84名

			美枝明治学院大学教授による事例検討会) メンバーも参加。 (3) 新キャリアパス制度に対応した人材育成 ⇒計画的に東社協等の研修を受講	通年	全職員
第5次経営改革プラン項目					
I 面的支援体制整備の推進					
III 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進				回数・日付	人数
2	利用者の将来像を見据えた作業・生活支援	内容	(1) 第三者評価受審結果を踏まえた利用者支援への取り組み ⇒自主生産品の新商品開発 (2) 新たな生産活動の展開 ⇒新作業の受注(おしぼりの検品・数量チェック作業) ⇒共同受注作業受入(寿祝い金封入) ⇒製菓の新商品開発・販売(ハーゼルナッツケーキ) ⇒東京都障害者施設生産活動応援センター説明会への参加及び登録 (3) 余暇・通所支援の検討・実施 ⇒特別活動プログラム ⇒登降園時のバス停見守り	通年 8月～ 9月6日 8月～ 7月～ 4回 通年	— — 4名 — — 182名 —
第5次経営改革プラン項目					
II 地域に根ざした公益的な取り組みの推進				回数・日付	人数
3	しいのき園の持っている資源を活用して、地域交流の活性化を目指す	内容	(1) 地域向けのイベントの企画・運営 ⇒「福祉のまち糶谷」第9回夏のおまつりによる地域交流 ⇒糶谷文化センターまつりへの参加 ⇒「糶谷の元気を進める会」による糶谷地区スタンプラリーへのイベント協力 (2) 自主生産品を通して、展開する地域交流 ⇒まごめ園・のぞみ園と合同で、駅ビル内の文具店にて紙すき雑貨販売	8月20日 10月8日 11月23日 ～12月7日 4月～	134名 37名 — — —

第5次経営改革プラン項目			回数・日付	人数
V 社会の動向を踏まえた持続可能な経営基盤づくり				
4	安定的な事業所運営	内容 (1) 法令遵守の徹底 ⇒職員会議や非常勤職員ミーティングを通じて、法令遵守に関する事項を周知 (2) ICT化への取り組み ⇒LAN無線化工事を令和6年度予算に計上 (3) 利用率向上を目指した事業所運営 ⇒感染症対策を講じながら、行事などを含む通常開園・運営	12回  通年  通年	全職員  —  —

### 5. 年間行事

4月	入所式	10月	糀谷文化センターまつり
5月	なし	11月	宿泊訓練(山梨県石和温泉)
6月	新型コロナウイルスワクチン巡回接種 (通算6回目) グループ外出(2回)	12月	土曜開園(年忘れ会)
7月	グループ外出(2回) 利用者健康診断	1月	新年・二十歳を祝う会
8月	「福祉のまち糀谷」第9回夏のおまつり 令和5年度しいのき園ふれあい祭り	2月	土曜開園(音楽会)
9月	なし	3月	なし

### 6. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	(1) サービス提供ガイドライン、各種業務標準を活用し法人キャリアパスに応じたOJT、業務モニタリングの実施 ⇒福祉経営・人材・働きやすい職場づくり研修 ⇒チームの中核メンバー研修 ⇒リーダーシップ・フォロワーシップ研修 ⇒チームメンバー研修	5月11日  5月29日 5月31日  7月27日	2名  3名 2名  1名

		⇒やさしさが伝わるコミュニケーション技術研修	7月31日	2名
			11月14日	1名
		⇒新任職員ブラッシュアップ研修	8月28日	1名
			11月30日	1名
		⇒ジュニアスタッフ研修	10月10日	1名
		⇒サービス提供ガイドライン研修 (正規職員)	1月24日	11名
		(非常勤職員)	2月5日	5名
		⇒チーミング研修	12月5日	2名
			1月16日	1名
		(2) 職場内研修の計画実施		
		① サービス管理、障害特性・支援技術等		
		⇒サポーターズカレッジ視聴	3回	32名
		② 虐待防止・権利擁護関連		
		⇒事業所虐待防止・人権委員会	11回	65名
		⇒サービス向上を目的とした職場内PTの取り組み	11回	全職員
		③ 危機管理・防災・応急救護等		
		⇒保護者対象の171災害伝言ダイヤルを実施	2回	55名
		④ 感染症対策・保健衛生等		
		⇒感染症対策委員会の実施検討	3月22日	5名
2	外部研修	① 障がい特性 2講座	2回	2名
		② リスクマネジメント 4講座	4回	4名
		③ 利用者支援・技法 3講座	3回	5名
		④ 福祉サービス・制度 2講座	5回	2名
		⑤ 経営・運営 5講座	5回	5名
		⑥ その他 3講座	3回	3名

7, その他特記事項